

聞いてみたいな  
こんなこと



# 一般質問

## 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 20人 質問 44項目

「一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会」から「本会議録画中継」を検索してください。公開は次の6月定例会議までです。

健康

## 化学物質過敏症について



田中 千代子

### A

化学物質による健康被害や過敏症による調査研究結果、予防対策については、国や東京都のホームページ等による情報が提供されている。これらの情報を市民に周知するとともに、医師会等の意見を伺いながら、さまざまな機会に相談対応できるよう、体制づくりに努めていく。学校においては、アレルギー疾患なので、学校医に相談しながら、個々に応じた対応が必要だと考えている。

他に市民の健康づくりについて質問した。



知っていますか？  
香りのエチケット  
その香り、苦手な人がいるかも

化学物質過敏症について、どのように認識しているか。原因物質が日常生活の身近なところに存在するため、意識せず接触して発症する可能性が高いと考えられており、未解明な部分も多く、治療方法なども確立されていない疾患であると認識している。

### Q

化学物質による健康問題について、市民や学校などに対し、市ができる対策は。

地域

## 高齢者の見守り活動について



村野 栄一

近隣地域と比べて見守りのネットワーク体制は。

防災・安心地域委員会との協働による実施や、地域包括支援センターによる見守り、業務の範囲内で気づいた場合に通報する市内事業者等との協定、また民生・児童委員の活動や社会福祉協議会のふれあい福祉委員による声かけ等見守り事業、各高齢者クラブの友愛活動などが実施されている。

### Q

見守り事業協定に協力してくれる事業者があきる野市にも多く存在する。近隣と比べ異なる業種もあるが、

### A

今後新規事業者への働きかけはどのように展開するの

か。今後ホームページで周知を図るとともに、他市の状況を参考に、市から協力事業者に対し働きかけを行う。まずは、店舗を構える商店やスーパーなどに働きかけたいと考えている。

### Q

地域の方が見守り活動に協力してくれている中で、一部の方に負担がかかっているか。

地域によって状況は異なっているが、一部の地域からは、業務の負担が多くなっているとの意見もある。

### A

他に指定管理者制度の現状と課題、地域包括支援センターについて質問した。



政策

## 持続可能な開発目標(SDGs)達成への取り組みについて



増崎 俊宏

持続可能な開発目標(SDGs)とは、「誰一人取り残さない」持続可能な世界の実現を目指す17の国際目標のこと。気候変動などの地球課題に対し、先進国と途上国を問わず、国内政策として取り組むよう国連が求めている。

### Q

食べ切れない料理を専用のバッグに入れて持ち帰る「ドギーバッグ」を推奨する運動を展開できないか。

食中毒の問題や、持ち帰る料理の制限があり、検討課題である。国や都の動向を注視したい。

他にバリアフリーのまちづくりについて質問した。

### A

持続可能な開発目標(SDGs)とは、「誰一人取り残さない」持続可能な世界の実現を目指す17の国際目標のこと。気候変動などの地球課題に対し、先進国と途上国を問わず、国内政策として取り組むよう国連が求めている。

### Q

17の目標のうち12番目の目標・ターゲットに食品ロスの削減があるが、本市の取り組みは。

リサイクルフェアと産業祭でアンケート調査を実施し、クリアファイルやマグネットを配布した。食品ロス講座も開催した。小中学生の



Public Private ACTION for Partners  
SDGsで日本を元気に、世界を元気に  
その主役はあなたです！

## 都市計画 武蔵引田駅北口土地区画整理事業における民間委託について



辻 よし子

**Q** 申出換地に当たり、影響を受ける地権者全員から同意を得ているか。

**A** 申出した人の合意は得ていると解釈はしているが、意向調査等で申出がない人の合意は得ていない。

**Q** 国の申出換地の指針では、関係する権利者の合意が必要なことや、他の土地の換地に影響を及ぼさない限度内で行うことが示されている。指針を逸脱していないか。

**A** 指針には、「公益に反せず、事業施行上支障がない限り」とある。産業ゾーンや沿道

ゾーンを設け企業を誘致することで、市の産業基盤の底上げすることも大きな命題。そのような解釈に基づいて進めている。

**Q** 民間包括委託方式は企業への丸投げではないかとの批判がある中、市と企業との会議録を作成していないのは大問題。今からでも作成すべきではないか。

**A** 検討していく。

**Q** 羽村市では仮換地指定前に換地設計案の縦覧を行っている。当市でも縦覧すべきではないか。

**A** 羽村市に話を聞き、取り入れられるものは取り入れていく。検討の余地はある。

他に国民健康保険の広域化について質問した。



区画整理後の「業務系地区イメージ」

## 環境

### 森林環境税について



中嶋 博幸

**Q** 森林環境税は2024年度から徴収、2019年度から先行開始が見込まれている。当市への配分想定額は、平成31年度が約20万円、段階的に増額され15年後は2400万円程度と試算される。

**Q** 森林整備の中で最も重要な課題とその対応策は。

**A** 財源不足や、所有者や境界が不明確な森林が増加。林業事業者や林業就業者が不足している。地域林政アドバイザーを活用して、林業事業者や民間主導型の林業組織の育成が有効である。



**Q** 3月都議会での自民党田村都議からの質問に対する東京都の答弁に注目すべき点がある。林業従事者に対する住宅補助制度と、調整区域内で観光や地域活性化にともなう用途への規制緩和を今年4月から開始することのこと。山間地域の空き家対策や林業従事者の育成支援、または山間地域への移住者誘致など、当市にとって朗報であり、これら制度を活かすべきと考えるが市の見解は。

**A** 都の規制緩和の取り組みが具体化された。空き家は民泊事業や民家カフェ、オフィスなど新たなビジネスが可能となり、山間地域の活性化につながる。観光商工の振興を進めたい。

他に、武蔵五日市駅前駐車場について質問した。

## 政策

### 女性の活躍推進について



白井 建

市を発展させていくためには、これまで十分に力を発揮できなかった女性の視点を取り入れることが必要。働く女性も家庭で育児を頑張る女性も全ての女性の活躍を促すため、市は今後どのように取り組むのか伺う。

**Q** 母親たちの育児疲れ解消のための乳幼児一時預かり事業の充実策は。

**A** 主に母親が多く集まる健診などの際にお知らせするほか、保育所等での一時預かり事業との情報共有の場を新たにつくる。

**Q** これまで私立幼稚園が果たしてきた役割への認識は。

**A** 長きにわたり多様化する保護者のニーズにも対応し、地域の幼児教育の大切な役割を担っているとの認識。

**Q** 保育サービスを受けている

母親への支援には保護者負担軽減費補助金、就園奨励費補助金等があるが、保育サービスを受けて家で育児をする母親への支援は。

**A** 子育てひろば事業、乳幼児一時預かり事業、乳幼児全戸訪問事業などがある。

**Q** 女性の起業に対する支援の今後の方向性は。

**A** 子育てステーションこころと連携し、ミニ相談会を実施するなどきめ細やかな起業支援を積極的に進める。

他に報道対応の強化について質問した。



## 防災

### 防災対策について



久保 昌代

**Q** 女性の目線で防災対策を進めようと、東京都が防災ブック「東京くらし防災」を発行し、3月1日から、都内の公共施設や協力店舗などで100万部が無料配布された。本市は、この配布先や活用について、どのような取り組みを考えているか。

**A** 市役所、五日市出張所、子育てステーションこころなどの窓口で配布している。図書館には貸出用も配置した。市職員には庁内の電子掲示板で情報提供する。ホームページには配布施設の紹介や、協力事業者の募集、スマホアプリなどの情報を掲載する。各自主防災組織に配布し、女性の防災への参画を促進したい。

**Q** 防災リーダーを育成するための取り組みについてどのように考えるか。

**A** セミナーは市職員に限らず、広く市民に対し開催についての情報発信に努めていく。現在、女性防災リーダーの占める割合は1割程度だが、増加傾向にある。今後も、女性の防災への参画が増えるよう、防災・安心地域委員会や自主防災組織など関係機関と連携して取り組んでいく。

他に、障がい者支援について質問した。

**Q** 災害時の女性のニーズに対応するための「防災ウーマンセミナー」開催や、女性



政策

### あきる野市内の地域経済について



中村 一広

市では、持続可能な自治体を目指し、「あきる野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいた施策を展開している。取り組みの中で、「スタ」や「こころの」が整備されるなど、若い世代が安心して働くことができるまちづくりが進んでいる。

**Q** 総合戦略が策定されてから2年が経過したが、取り組みの成果は。

**A** あきる野ルビアに整備した「スタ」の支援により、14人の方が新たに創業されたことや、子育て支援の拠点として整備した「こころ」が、子育て期の多くの方々

に利用されていることなど、評価指標を上回る成果を上げている。

**Q** 市内の雇用状況を市ではどう捉えているか。

**A** 求人数の増加傾向に對して、求職者数は減少傾向にあり、企業の採用意欲の高まりが雇用につながりつつある状況になっている。

**Q** 企業立地が進む中、市として地元雇用の働きかけは。

**A** 初雁地区の市有地売り払いの際には、プロポーザル方式による評価項目として、地元雇用の促進を設けるなどの取り組みを行っている。今後も進出・創業する企業へは、さまざまな機会を捉えて地元雇用を要請する。他に地域の伝統文化について質問した。



防災

### 防災行政無線放送について



天野 正昭

防災行政無線は市内各所に配備され、市民への重要な情報伝達手段となっている。

**Q** どのようなシステムになるのか。

**A** アナログ放送の終了に伴い、現在、アナログで運用している防災行政無線設備をデジタル対応とする。

**Q** 予算総額が8億円を超えるが、その財源は。

**A** 事業費全額を国の緊急防災・減災事業債として借入れ。なお、利息を含めて総額の70%が基準財政需要額に算入され、交付税措置される。償還額は1年あたり約6000万円で、約4300万円が交付税措置されるため、市の一般財源によ

る償還額は、約1800万円程度と試算している。

**Q** 昨年、「火災ではありませんでした」という放送が多数回あった。放送の信頼性を高めるため、改善したほうが良いのではないかと。

**A** 近隣自治体の取り組みを確認して、秋川消防署及び消防団と協議しながら、関係各所に対し、予防消防の強化を図っていきたい。

他に通学路の防犯カメラ、温水プールの使用料金について質問した。



道路

### 市役所周辺の道路整備について



窪島 成一

市役所への車の出入口は2か所あり、南側五日市街道からの出入りは信号機がなく、時には渋滞し、危険な状況が見受けられる。一方、東側の出入口と接する市道は、五日市街道から北方向へ、大部分が未整備で、車のすれ違いもできない状況である。多西地区の住民からは、この市道が整備されることで、市役所への行き来が格段に便利になるとの声がある。

**Q** 秋留台東地区整備計画は、どの程度進んでいるのか。

**A** 秋多都市計画道路整備を契機とし、沿道系土地利用の



**Q** 東側市道を先行して整備できないのか。

**A** あり方のほか、市役所、学校等の公共公益機能の特性を生かし、中心市街地との一体性や活性化等に資する土地利用を再考した上で、市街化区域への編入に向けた取り組みを推進する。

**Q** 整備計画を策定し、周辺市街地との一体性や利用者の利便性向上に資する道路整備を行うが、現況は、幅員が狭く、車のすれ違いで道路以外の土地を通行するなど問題も発生している。今後確認を行うとともに、地権者や農地法等の調査を行った上で、車の退避所等の整備について検討する。

他に平井川の河川整備及び河川利用について質問した。

環境

### 相次ぐ米軍機事故について



たばたあずみ

米軍機による落下物の事故や墜落事故が相次いでいることを受け、質問する。

**Q** 部品落下など事故を起こした機体が横田基地に飛来していた。当市上空でも訓練を行った可能性があることを市は把握しているか。

**A** 横田基地に飛来する米軍機の機種や事故などの状況把握に努めているが、個々の機体等に関する情報については把握していない。

**Q** 事故は当市で起きていたかもしれないということ。市民の命と財産を守ることが重要。積極的に国や米軍に働きかけ、平和なわたしたちのまちを戦場に見立てた訓練は許さないという態度を、より強く示すべきでは。

**A** 戦場というのにびっくりしたが、今は戦場ではないので、市長として市民の生活、

安全、生命、財産を守る立場にあるので、市として、色々な問題が起これば北関東防衛局にも連絡し、近隣市の要請も聞いている。国は、市は市という形の中できちんとやっていきたいと考えている。

他に施政方針・教育方針、武蔵引田駅北口土地区画整理事業について質問した。



## 公共交通の充実について



山根 トミ江

**Q** 公共交通のあり方検討報告書を受け、検討委員会が設置されることになった。前向きな改善を求める。

**Q** 市民の声を市長はどのように受け止めているか。

**A** 超高齢化社会を迎え、大変重要な課題と捉えている。公共交通のあり方検討会議からの提言等を踏まえ、具体的な検討を進めていきたい。

**Q** 草花折立地域など4か所を設定している交通空白地域について、どのようなことから検討していくのか。

**A** 公共交通優先検討区域について議論や検討をした上で、



道路状況等の諸条件を整理し、ワークシヨップやアンケート調査によって需要を把握した後、速やかに進めていきたい。

**Q** 「るバス」は当初は3コースを予定していたが、財政的な理由からいまだに1台で運行している。早急に改善すべきと考える。現在、市の持ち出しは約1350万円而他市と比較しても決して多い金額ではない。どのように考えるか。

**A** 1350万円が多いか少ないかという考え方ではなく、効果への対価にどれだけ財政的に投入していくかが先にある。公共交通全体の議論の中で、るバスの問題も併せて検討していきたい。

他に、大雪対策について質問した。

## スポーツ推進計画について



ひはら 省吾

あきる野市スポーツ推進計画策定に伴いスポーツ推進審議会が設置されている。国はスポーツ庁を設置し、東京都は、オリンピック・パラリンピック準備局を編制した。市の推進体制の現状及び今後の取り組みは。

**Q** 市体育協会、総合型地域スポーツクラブ等の協力で、各種事業を展開中。計画的かつ効率的に実施し、スポーツ振興に努めていく。

**A** 市には総合型地域スポーツクラブが2団体あるが、今後の支援内容及び方向性は、都の部活動外部人材の活用方針等を踏まえ、連携や支援など検討する。

**Q** 市民運動広場B面、中央公園内相撲場の今後のあり方について伺う。

**A** 広場B面への夜間照明設置



他に特殊詐欺について質問した。

は、ニーズ把握、近隣住宅や農作物への影響などに配慮が必要である。相撲場も含めた広場の利用実態を検証し、施設のあり方等を検討する。

**Q** 障がい者スポーツ環境、人材確保について市の考えは。

**A** スポーツ推進委員が、日本障がい者スポーツ協会の研修会に参加し、4人が公認指導員として登録された。新たな人材確保に向けて、関係団体等に働きかける。

## 雪害対策について



堀江 武史

**Q** 市では、平成26年に除排雪作業マニュアルを策定した。本年、本格的な降雪があったが、その対応について伺う。

**A** マニュアルに基づいて、市内業者には除雪作業に対応できる体制を整えるよう指示し、随時除雪作業を実施した。また、坂道、カーブ、日陰等、凍結によりスリップ、転倒が想定される危険箇所に融雪剤（塩化カルシウム）の散布を実施した。

**Q** 市民に対して、防災行政無線等での協力依頼ができないか。

**A** 近隣市でもマニュアルを作っ



除雪機の訓練風景

ているところがある。参考になるものは参考にし、次回の見直しに反映させたい。

**Q** 小・中学生にも協力依頼ができないか。

**A** 始業時間を2時間遅らせた。その時間を活用して、地域の雪かきに出るような働きかけもしてみたい。

**Q** 都道の工区の違いで除排雪の対応の差が出ないようにできないか。

**A** 都道なので、両工区の指示は把握していないが、両工区に市からも要望したい。

他に武蔵引田駅北口土地区画整理事業について質問した。

## 保育について



松本 ゆき子

2017年6月に厚生労働省から出された「子育て安心プラン」は、2020年度末までに待機児童を解消するということである。今後3年間の取り組みは。

**Q** 民間保育所等の施設整備により定員拡大を図り、4月の入所選考終了時点で、弾力運用を含め169人の受け入れ枠を確保した。今後も待機児童の状況を注視しながら、適切に対応していく。

**A** 2018年度の入所申請の状況と待機児童の見込みは、4月の申請児童数は422人、継続入所は1419人で、合計1841人。入所選考終了時点で待機児童数を9人と見込んでいる。

**Q** 保育士不足の中、人材確保に対する支援策は。

**A** 保育士不足の中、人材確保に対する支援策は、

保育記録や保護者への連絡などの業務支援システムの導入、乳幼児の睡眠時における安全対策のベビースターなどの導入を支援する。

**Q** 国が幼児教育・保育料無償化の方針を出しているが。

**A** 3歳から5歳児までの幼稚園、保育所、認定こども園の費用を無償化し、0歳から2歳児については住民税非課税世帯を対象に無償化を進めると定められているが、詳細は公表されていない。

他に雪害対策について質問した。



政策

## 平成30年度施政方針について



中村 のりひと

**Q** 聴覚障害者に対する情報保障の環境整備を進め、全国の自治体における施策展開の情報交換を行う全国手話言語市区長会に参加してはどうか。

**A** 手話通訳者派遣事業や手話講座等の取り組みを積極的に進めているが、参加については、手話言語法（仮称）の制定に向けた国や都の動向を踏まえながら、検討していく。

**Q** 当市で手話言語条例制定への動きはあるか。

**A** 手話に関する条例制定について検討したことはないが、



全国市長会で、平成30年度、

国へ、手話言語法（仮称）を制定することという政策提言を出している。障害者基本計画第4次案の中では、「地域社会における共生等」として、手話を含む言語、その他の意思疎通のための手段について選択する機会の確保等を図ることを旨として障害者施策を実施する必要がある」としている。手話言語法（仮称）の制定が間近なのかどうかは見極めたい。

教育

## 図書館運営について



合川 哲夫

**Q** 教育長の教育方針は、大変すばらしい意味を持っている。その中で、明治150年の節目の年、記念事業を実施するとしているが、どのような内容か。

**A** 中央図書館収蔵の五日市憲法草案の原本展示や、五日市図書館所蔵の自由民権運動関係の図書資料の紹介など、図書館の特色を生かした記念事業を実施したい。

**Q** この事業実施について、国から何か依頼があったのか。

**A** 国では各省庁でさまざまな取り組みがされており、各地方自治体においても多様な取り組みが期待されている。

**Q** 記念事業の具体的な内容は、五日市憲法草案の解説展示を2回実施。春は初めての方にも分かりやすく解説し、秋は文化財ウォークに合せ

て特別展を予定。五日市図書館と増戸分室では、自由民権運動に関する資料の展示と解説を予定している。

**Q** 本市の知的財産である五日市憲法草案を広く市民に知ってもらうために、講演会やシンポジウム等の事業を取り入れてはどうか。

**A** 講演会も開催する予定である。今後、内容や日程を調整する。

他に教職員の働き方、無電柱化推進について質問した。



下水道

## 公共下水道について



村木 英幸

**Q** あきる野市の公共下水道は、現在、事業計画区域の1410.71haのうち1322haの整備が完了しているが、88.7haが未整備地域となっている。事業計画区域から外れている空白地域においても、公共下水道の整備を切望している市民も多数いる。菅生地区では、四軒在家町内会の一部は、事業計画区域に入っているが、まだ未整備であるし、菅生町内会地区は、全く白紙である。



**A** 菅生地区における公共下水道の整備状況は、24.7haのうち23haの整備が完了し、現在も残りの区域（四軒在家の段下）の整備を順次進めている。市内の汚水整備計画については、現在、策定に向けて取り組みを進めているが、菅生地区においては、経済性比較による判定や地形、周囲の状況を踏まえ、公共下水道により汚水を処理する区域と合併処理浄化槽により汚水を処理する区域を組み合わせた整備手法が効果的と考えている。また、汚水整備計画の区域については、既設の家屋は全て入っている。区域に入らない施設については、汚水整備計画とは別に、個別で対応を検討していく。

他に福祉、教育について質問した。

環境

## クビアカツヤカミキリの防除について



清水 晃

**Q** 桜、桃、梅などの樹木に寄生し、樹木に悪影響を及ぼすクビアカツヤカミキリの防除について以下何う。

**A** 現在の被害状況と想定される被害樹木は、被害樹木は57本確認しており、そのうち52本が総合グランド周辺に集中している。既に25本を伐採し、駆除を終えていることから、現在の被害樹木数は32本となっている。被害樹木は、ハナモモ2本のほかは全て桜である。総合グランドに近接する桜や桃など、バラ科の樹木に被害が及ぶと危惧されている。

**Q** 対応方針と対策方法は、平成30年1月15日に特定外来生物に指定されたことも考慮し、総合グランド周辺以外に分布を拡大させないことが重要。幹への薬剤

注入による幼虫駆除や、被害樹木へのネット巻きによる成虫捕殺を基本とし、被害が甚大で、落枝や倒木により市民の安全に支障を来すおそれが高い場合のみ、伐採により駆除していく。

**Q** 検討課題は、生態に不明な点が多いことや、対策方法などが十分に確立されていないことから、今後、国、東京都、研究機関と連携して対応していく。

他に国民健康保険運営の広域化、平成30年度予算編成について質問した。



都市計画  
武蔵引田駅北口土地区画  
整理事業について



奥秋 利郎

市議のQ&A

**Q** 事業完了の時期について伺う。

**A** 本事業は、平成28年3月7日に、事業期間を10年間とする事業計画を決定しており、事業の実質的な完了となる換地処分は、7年後の2025年度末と設定している。

億5000万円に、利子約5億9000万円を加えた約30億4000万円が起債償還総額となり、償還のピークは年間約1億7000万円と見込んでいる。

**Q** 総事業費約77億3千万円のうち公共投資分(駅前広場、道路、公園等)の総額について伺う。

**A** 総事業費のうち、道路、公園等の整備に投資する金額については、約29億7000万円を見込んでいる。

**AQ** 起債償還計画について伺う。

事業に伴う起債は、最終的な借り入れの対象を、6年後の2024年度の工事等と想定しているため、起債償還の完了年度は、その20年後の2044年度を予定している。起債総額の約24



No.1

第2回議会報告会「議員と話そう、みんなで話そう」を開催しました。

あきる野市議会では、2月1日と4日の2日間、第2回議会報告会を中央公民館と五日市地域交流センターで開催しました。第一部では、議会のしくみについて説明したあと、9月及び12月定例会議で審議された議案や決算特別委員会で議論された内容などについて報告しました。続く第二部では、参加者と議員がいくつかのグループを作り、3つのテーマについて考え、意見を出し合いました。参加者からの意見や質問は、今後の議会活動に反映していきたいと考えています。

第2部意見交換での主な意見

議会に望むこと

- 議員の討議をもっと活発に、互いの意見を聞き、市民を豊かにするために21人一丸となしてほしい。
- 議会を傍聴する人が少ないのは、市民が議会に面白味を感じないから。議員の役割はもっと市民を巻き込んで、市を動かしていくこと。市民と議員が自由に語り合っオープンスペースをつくってほしい。
- そこで出された市民からの声を議会に反映させるようにしてほしい。
- 若い人たちが議会報に親しみを持てるように、議会のキャラクターをつくって議会報に載せてほしい。
- 市長への手紙があるのであれば、議長への手紙があっても良い。それ以上に議員に対して直接質問できる場がほしい。

これからの地域交通

- 降りたいところで降りることができ、きめ細かな対応ができる交通手段を望む。
- JRから車両を借りて、ダイヤの空いている時間に市が電車を走らせたい。
- デマンド交通でボランティア運転手がいると助かる。そのボランティアなどに補助を出すことなど検討してほしい。

子どもの居場所

- 外で遊んでいる子どもを見なくなっている。異年齢が交流できる場所があると良い。
- 自然豊かで子ども達が遊べる場所がたくさんあるのに、制限が多い。プレイパークの中で自由に遊ぶことができるように望む。



定例会議の報告の様子



意見交換の様子

日時	場所	参加者数
2月1日(木) 午後7時から8時30分まで	中央公民館 第6、7研修室	13人
2月4日(日) 午後1時30分から3時まで	五日市地域交流センター 第4、5会議室	30人

請願・陳情の提出方法

6月定例会議では5月28日(月)までに提出された請願・陳情を審査します。

〔請願〕

市議会議員の紹介が必要です。議長が受理し、各常任委員会に付託され審査されます。議会最終日に常任委員長が審査結果を報告し、採択・不採択を決定します。

〔陳情〕

市議会議員の紹介は不要です。取り扱いについては、請願と同じです。

〔書き方〕

- 請願(陳情)の趣旨、理由については、できるだけ簡潔に書いてください。
- また、場所などの表示が必要なもの、図面を付けてください。

●2名以上で請願(陳情)を行う場合は、住所・氏名を書いた署名簿を添えてください。なお署名者がその請願(陳情)の趣旨に賛同していることがわかるように、各署名簿に趣旨、理由を記載してください。

〇〇〇に関する請願(陳情)

1. 趣旨  
2. 理由

紹介議員 〇〇〇 〇

平成 年 月 日

請願(陳情)者

住所 〇〇 〇 〇 〇

氏名 〇〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

電話番号 〇〇〇〇 〇〇〇〇

あきる野市議会議員 〇〇〇 取

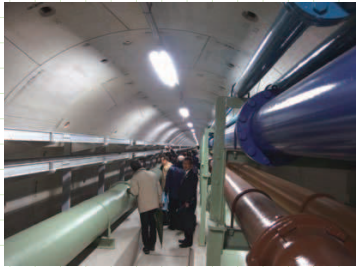
〔提出先〕

あきる野市役所6階の議会事務局に、直接持参してください。

受付時間：平日午前8時30分～午後5時15分  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。  
in@city.akiruno.lg.jp

## あきる野市議会活動レポート

### 八王子水再生センター視察



秋川流域市町村下水道建設促進協議会（あきる野市、日の出町、檜原村で構成）では、1月22日に八王子水再生センターを視察し、施設概要についての説明を受け、多摩川上流水再生センター・八王子水再生センター間連絡管（多摩川の地下深くを横断するトンネル）等を見学しました。

### 病児・病後時保育室内覧会



公立阿伎留医療センター敷地内に開設された秋川流域病児・病後時保育室完成に伴い、3月29日に内覧会が開催され、議員が参加しました。担当職員の説明を受けながら、施設を見学しました。

### 東京都市議会議員研修会



2月8日に東京都市議会議員研修会が府中の森芸術劇場で開催され、議員が参加しました。薬谷浩介氏（株式会社日本総合研究所主席研究員）を講師に招き、「これからの観光振興と商店街の活性化」というテーマで講演が行われました。

### 公会計に関する議員研修会



3月29日に「公会計情報の新たな活用に向けた地方議会の役割」をテーマに議員研修会を開催しました。公認会計士 川口雅也氏から講義を受け、質疑応答を行いました。

## No.2

### 災害対応訓練を実施しました。



被害状況情報の収集・整理



議場での訓練

あきる野市議会では、大規模な災害に備えて「あきる野市議会における災害発生時の対応要領」を定めています。これは、市に設置される災害対策本部と連携を図り、被害の拡大防止及び災害の復旧に寄与することを目的としています。2月13日、その対応要領に基づく初の市議会災害対応訓練を実施しました。

当日は震度6強の地震が発生したと想定し、自宅から本庁舎までの参集訓練、メール等による被害状況の報告及び情報の収集・整理、議場からの避難訓練等を行いました。今回の訓練の反省点や課題等を踏まえ、今後も引き続き災害対策に取り組んでいきます。

## No.3

### 議員全員協議会 「議員報酬及び議員定数について」を開催しました。

あきる野市議会では、2月16日に議員全員協議会を開催し、議員報酬と議員定数について意見を申し合いました。今回の協議を踏まえ、新たな組織をつくって検討をすすめるか等今後の方向性について、会派代表者会議で話し合っていました。

#### 議員報酬についての主な意見

○人材確保のためにも、生活が成り立つだけの報酬は必要である。

○議員が身を切る改革をするならば、報酬や手当を減らすべきである。

○市民の声を聞き、継続して議論すべきである。

など

#### 議員定数についての主な意見

○7人で構成している3常任委員会を運営していくためには、現行21人は妥当である。

○市民の意見を市政に届けるためには、議員定数は削減すべきではない。

○行き詰まった市政や人口減少、市民の意見などから、議員定数は削減すべきである。

○市の財政状況から見ても豊かなほうではない。議員自ら身を切るべき。議員定数14人で議会運営はできる。

など

